

あの日、私たちは二十歳を祝い、
ひとつの約束を交わした。



「10年後、また北塩原村で会おうね」

それぞれが描いた未来を胸に、別々の道へと歩き出した。

あれから10年。みんなはどんな時間を過ごし、どのような大人になったのだろう。

チクタクと、私らしい時間を刻み続ける。

「最後まで自分と向き合える大人でありたい」

そう願った彼女は、ほどよく都会な街で、
毎日子どもたちの笑顔に囲まれながら働いている。
プライベートでは大学時代からの友人たちと、
今日も笑い声が絶えない。



レンズの向こう側に、あたたかな命を見つめる。



彼女は地元で医療従事者として働き、今日も顕微鏡を覗き込む。
病気の早期発見に貢献し、患者さんに優しく寄り添う彼女はみんなから信頼される存在。
家族や友人、職場の仲間に囲まれ、あたたかな毎日を紡いでいる。

開かれた画面から、
誰かの未来が創られていく。



東北の地で、人のために働く彼。
教育あるいは人材育成の仕事に汗を流している。
パソコンを開けば、誰かの未来を創るためのアイデアがいっぱい。
プライベートでは、大切なパートナーと穏やかで幸せな暮らしを築いている。

めまぐるしい都会の真ん中で、お気に入りの旋律が僕を支える。



賑やかな首都圏のオフィス街。
彼は会社員として、めまぐるしい毎日を駆け抜けている。通勤の相棒はイヤホン。
都会の真ん中で、家族と過ごす楽しい時間が、彼の一番の宝物だ。

窓を開けて風を感じれば、やっぱりここでの暮らしが一番好き。



ふるさと北塩原村で、家族と愛犬とともに暮らす彼女。
週末の楽しみは、愛車に乗っていろんな場所へ出かけること。窓を開けて風を感じながら、
心ゆくまでドライブを満喫する。彼女の笑顔は、村の景色のように輝いている。



全力投球の日々を、
力強いリズムが後押しする。

工場で働く彼は、毎日元気はつらつ！
仕事もプライベートも全力投球の彼を支えているのは音楽。
記憶には、音楽のおかげで乗り越えられたシーンがたくさんある。
気の合う友人や、パートナーと充実した日々を送っている。

ふと、北塩原村からなつかしい風が吹き抜けた。

さあ、あの日交わした約束の時間。

「久しぶり!」「お互い、大人になったね!」

30歳になった私たちは北塩原村に集まり、再会を果たした。



それぞれの道で見つけた宝物が、私たちの永遠の絆を彩る。



私たちは、それぞれの歩みの中で、自分だけの、かけがえのない「宝物」を見つけ出すことができた。
これまでも、そしてこれからも、私たちは永遠の友。時が流れても、私たちの絆が色あせることはない。